

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	認知症施策総合支援事業				シート番号	011-068	
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	地域包括ケア推進課	評価責任者(課長名)	阿加井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	有
	2	事業開始年度	平成 27 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	厚生労働省老健局長通知「認知症地域医療支援事業の実施について」(平成27年4月15日老発0415第6号) 厚生労働省老健局長通知「認知症介護実践者等養成事業の実施について」(平成18年3月31日老発0331010号) 厚生労働省老健局長通知「認知症施策等総合支援事業の実施について」(平成26年7月9日老発0709第3号)			
	4	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30(2018)~32(2020)年度)			
5	事業実施の経緯	政令市移行に伴って平成18年度から、厚生労働省老健局長通知に基づき実施 組織改正に伴い、平成27年度から「認知症介護実践研修等事業」「認知症対策等支援事業」「認知症疾患医療センター運営事業」を統合し、当該事業を開始した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	認知症高齢者とその家族等関係者、認知症高齢者等の介護に携わる実務者・認知症介護を提供する事業所の管理者等、認知症の診療に携わる医師・高齢者が日頃から受診する診療所等の主治医(かかりつけ医)病院勤務の医師・看護師等の医療従事者、認知症の人と接する機会が多い看護職員 高齢者が受診する歯科医師・高齢者が受診した際や受信後等に接する薬局・薬剤師			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	認知症の方に対する医療及び介護サービスを充実するとともに、認知症の発症初期から状況に応じて、医療と介護が一体となった認知症の方への支援体制の構築を図るため、人材の育成を図ること。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	認知症の方及びその家族等に対する支援として以下の項目を実施 ・認知症高齢者の介護に関する実践的研修の実施 (認知症介護基礎研修、認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修、小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修、認知症介護指導者養成研修など) ・認知症介護にかかる適切なサービスの提供に関する知識等を得させるための研修の実施 (認知症対応型サービス事業開設者研修、認知症対応型サービス事業管理者研修) ・医療従事者が認知症ケアについて理解し適切な対応をできるようにするための研修の実施 (認知症サポート医養成研修、かかりつけ医認知症対応力向上研修、歯科医師認知症対応力向上研修、薬剤師認知症対応力向上研修、看護職員認知症対応力向上研修など) ・認知症疾患医療センターの設置(2か所) <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
10	直接実施以外の主な支出先	(社福)大阪府社会福祉事業団、(公財)浅香山病院、(医)杏和会阪南病院				

Ⅲ. 投入量

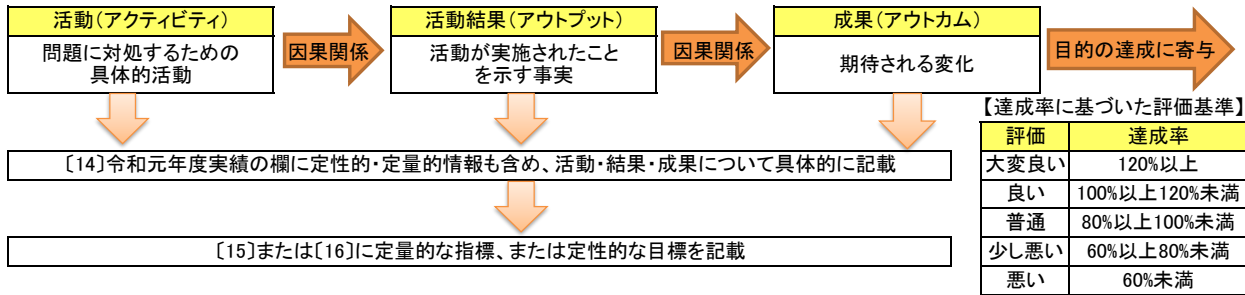
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	30,102	28,064	30,011	21,840	21,407	19,658	20,867	
	主な事業費内訳	委託料	千円	15,900	15,870	15,900	12,818	10,544	10,164	10,213
		負担金、補助及び交付金	千円	8,441	8,132	8,441	7,745	8,441	8,268	8,605
		その他	千円	5,761	4,062	5,670	1,277	2,422	1,226	2,049
	財源内訳	国・府支出金	千円	5,986	5,591	6,001	5,427	6,951	5,883	6,478
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	5,926	5,347	5,386	4,666	5,386	4,445	5,585
		市債	千円							
		その他( )	千円							
		一般財源	千円	18,190	17,126	18,624	11,747	9,070	9,330	8,804
	12	人件費 (b)	千円	4,100	4,100	4,100	4,100	4,080	4,050	4,100
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	34,202	32,164	34,111	25,940	25,487	23,708	24,967

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	認知症施策総合支援事業	シート番号	011-068
-------	-------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績					
活動実績と成果	14	・認知症高齢者の介護に関する実践的な研修を実施 認知症介護基礎研修 修了者51人 認知症介護実践者研修 修了者112人 認知症介護実践リーダー研修 修了者29人 認知症介護指導者養成研修 修了者1人 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 修了者15人  ・認知症介護にかかる適切なサービスの提供に関する知識等を習得させるための研修を実施 認知症対応型サービス事業開設者研修 修了者5人 認知症対応型サービス事業管理者研修 修了者25人  ・医療従事者が認知症ケアについて理解し適切な対応をできるようにするための研修を実施 認知症サポート医養成研修 修了者11人 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修 修了者8人 看護職員認知症対応力向上研修 修了者18人  ・市内2箇所の認知症疾患医療センターの運営(2箇所合計) 外来件数11,836件(うち鑑別診断件数1,136件)、入院件数527件、 専門医療相談件数 電話2,412件、面接215件					
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		15	人	目標値	420	420	420
				実績値	420	346	247
				達成率	100%	76%	59%
				評価	良い	少し悪い	悪い
		算出方法・設定根拠など 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に定められた目標達成のために必要な到達水準を年次で落とし込みましたもの。					
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		16	人	目標値	165	165	165
				実績値	119	76	37
	達成率			72%	46%	22%	
	評価			少し悪い	悪い	悪い	
	算出方法・設定根拠など 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に定められた目標達成のために必要な到達水準を年次で落とし込みましたもの。						

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	研修年間修了者数(介護職対象)	人	418	319	247
	②	上記①にかかる年間経費	千円	14,791	11,947	9,473
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	35,385	37,451	38,352
	備考(算出についての説明等)					
区分						
18	①	研修年間修了者数(医療職対象)	人	119	76	37
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,079	871	691
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	9,067	11,461	18,676
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	介護職向け・医療職向けの研修とも各職種の業務が多忙な中、これまで研修を実施してきた中で一定の参加者数が集まり、研修修了者の累積人数が増加してきたことも、新たな参加者が目標に達しなかった要因の一つとして考えられる。また、研修の参加者数が目標に達しなかったもう一つの要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、いくつかの研修が中止となったことが挙げられる。  しかし、団塊の世代の高齢化などに伴い、認知症の高齢者が今後益々増加していくことが予測されている中で、認知症の方への支援体制のさらなる強化が求められており、効果的な実施方法を検討しながら、今後も幅広く関係機関等に事業を周知することで、目標達成を図っていく。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	認知症施策総合支援事業	シート番号	011-068
-------	-------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 団塊の世代の高齢化などに伴い、認知症の高齢者が今後ますます増加していくことが予測されている中で、認知症の方への支援体制のさらなる強化が求められているため、研修を廃止すると、認知症の方を介護する人材の育成が困難になる。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 認知症の方への支援体制のさらなる強化が求められている中で研修を休止すると、継続的な人材育成が困難となり、認知症医療体制の質の低下につながる。 また、認知症疾患医療センターは、認知症に関する専門的治療も行う医療拠点であり、事業を休止すると、その運営に支障が発生し、認知症医療体制の質の低下につながる。	<b>休止の場合の再開時期</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 認知症の方への支援体制のさらなる強化が求められている中で事業規模を縮小すると、継続的な人材育成が困難となり、認知症医療体制の質の低下につながる。 また、認知症疾患医療センターは、認知症に関する専門的治療も行う医療拠点であり、事業規模を縮小すると、その運営に支障が発生し、認知症医療体制の質の低下につながる。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 研修を開催する際には、消毒液の設置やマスクの着用の徹底等、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で実施する。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	<b>効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は<input checked="" type="checkbox"/>、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は<input type="checkbox"/>)</b> ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( ) 関連事業名 ( ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>理由・説明</b> 研修実施と疾患医療センター運営の双方とも、すでに委託等により専門的なノウハウを有する機関と連携して実施しているため、さらに改善することは難しい。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
	所見	研修内容について、修了者の職場内での周知を促すため、国が作成している各研修の動画教材等の活用も検討していく。			